【定期集会のご案内】

- 特伝案内
- 定期集会案内
- その他記事

当集会は、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）、
エホバの証人、モルモン教とは**一切関係ありません。**

特別伝道集会のご案内

- 特伝案内
- 定期集会案内
- その他記事

A6-T002

待っている
人のいる家

郵便はがき

お手数ですが
切手を
お貼り下さい

内容変更可能↓

☆ご希望のところに○をつけてお送りください。（すべて無料）

1．新約聖書（伝道用）を送ってください。
2．聖書に関する読み物を送ってください。
3．聖書通信講座を申し込みます。
4．集会に出席したいと思います。
5．自宅への訪問を希望します。

（連絡先　　）

お名前	フリガナ
ご住所	〒　　-

※ご記入いただいた内容については、上記の目的及び当集会の案内を送付する目的以外に使用することはありません。

切り取り線

あなたが帰る家には、だれがいますか。
待っていてくれる人はいますか。
そこは、心安らぐ場所ですか。

聖書の中に登場する数々の家。
だれが住んでいるのでしょう。
だれが訪れたのでしょう。

そこには何がありますか。
人の温もりですか。
匂いでしょうか。

待っている人のいる家

ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけて、かわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけした。

「もう、帰る家もない」
遊興にふけり、財産のすべてを失ったとき、彼はそう考えたかもしれません。思えば、自由で気ままな生活を夢見て旅立ったのでした。しかし、お金はすぐに底をつき、いまは食べることすらままならない毎日です。
――これは、聖書にある放蕩息子のたとえ話です。

何もかも失ったかのように見えましたが、しかし、彼にはたった一つだけ失わなかったものがありました。父の家です。そこには、彼の帰りを待っている父親の姿がありました。放蕩に身を持ち崩したとしても、父親にとっては、かけがえのない息子なのです。

聖書は、神のもとから離れた人間は、この放蕩息子のようなものだと教えます。その息子を待つ父親のように、神もまた、私たちが帰るのを待っておられます。

当集会では、聖書の救いについてお伝えする特別福音集会を行います。ぜひこの機会に、当集会にお越しくださいますようご案内いたします。

A6-T002

表

待っている人のいる家

特別伝道集会のご案内

裏

・特伝案内

・定期集会案内

・その他記事